

鈴蘭 第15号

発行者 松本 祐藏
 編集 「鈴蘭」編集委員会
 〒763-8507
 香川県丸亀市津森町219番地
 TEL (0877) 23-5555
 FAX (0877) 23-6200
<http://jyujin-mmc.jp>
 題字 青木 伸弘



鈴蘭



理事長就任のごあいさつ

まるがめ医療センター

理事長 松本 祐藏



4月1日付でまるがめ医療センターの理事長を拝命いたしました松本祐藏でございます。皆さまに就任のご挨拶を申し上げます。

まず自己紹介をさせていただきますと、昭和45年岡山大学を卒業後、脳神経外科に入局、大学病院をはじめ中四国の病院で研修、経験を積み、昭和62年香川県立中央病院に赴任して高松での勤務を30年間続けて参りました。当院は昭和21年から麻田病院として長く丸亀市民の皆さまにご利用いただけてきましたが、5年前からは経営が医療法人社団重仁に移譲され、病院再建が始まっております。平成29年9月には病院名を「まるがめ医療センター」に改名して、青木前理事長のもと「最高・最新・最善の医療の飽くなき追求」の理念を掲げて職員一丸になって更なる病院改革に取り組み、地域の信頼回復に努力してまいりま

した。

現在、我が国では少子高齢化が顕著となり、人口減少対策が急務であります。医療においては地域の医療、介護体制を整備して地域包括ケアシステムの構築、地域医療構想の実現を目指しています。一方で、医療費抑制、診療報酬減額改定、医師不足、看護師不足など医療人材の確保が非常に難しくなってきました。このような医療環境の下で病院経営は益々厳しいものになっており、今後、当院がこの丸亀市において中核病院として発展するためには、医師会や各病院、診療所など医療機関、福祉施設との緊密な連携・協力関係を築いていくことが最も重要だと思います。院内においては各種のスタッフが協力してチーム医療を実践して患者さんの治療から日常生活の支援まで一貫したケアが求められています。幸い昨年9月には「日本医療機能評価機構」の訪問審査を受け、認定病院になり基盤整備はできてまいりました。今後これまでの経験をも生かして、優秀な医師確保をはじめ医療人材・育成に努力して質の高い医療の提供をできて、まるがめ医療センターが地域に愛され、必要とされる病院になるよう最大限の努力いたしますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務長就任のご挨拶

事務長 東原 秀樹

4月1日付で事務長を拝命しました東原秀樹です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。わたくし事、平成28年3月に県庁を定年退職し、本年3月末までの3年間、さぬきこどもの国園長として児童・青少年の健全育成分野の業務に従事してまいりました。

県庁退職までの10年間は、県立中央病院、さぬき市民病院において、それぞれ事務局次長、事務部長の職に、また、本庁の健康福祉部において、主に政策医療分野の業務に従事してまいりました。

この度のご当地丸亀での勤務は初めてです。1日も早く職場環境にも慣れ、松本新理事長の下、全職員の総力を結集して、当院が丸亀地域の中核的な病院としてその機能と役割が十分に発揮されますよう、事務方として求められる職責を全うし、業務改善に真摯にかつ誠実に取り

組んでまいりたいと存じます。業務遂行に当たりましては、職員の皆様方のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

さて、私が折々に書き留めてきた言葉の中から、特に印象に残っている言葉をご紹介させていただきます。私の就任のご挨拶とさせていただきます。

「職場で楽しく仕事をするコツは何か。それは「明るさ」です。では、どうすれば明るく仕事をする事ができるのか。たった二つのことを心掛ければ身につきます。

一つ目は「あいさつ」です。毎朝明るく仕事を始めるために「おはようございます」とあいさつして部屋に入ります。

二つ目は「良い返事」です。「はい」「わかりました」「喜んで」。仕事を頼まれたら喜んで引き受けましょう。」

筆者・岡本全勝 旧自治省入省、元復興庁事務次官、現内閣官房参与「楽しく仕事をするために」から抜粋。

職場で明るく楽しく仕事をするコツと言われる「あいさつ」と「返事」。この二つのコツを私自身常に心掛けていきたいと思っております。皆さんも実践してみませんか。

どうぞよろしくお願ひします。



医師紹介



消化器内科医師
福田 直子

2019年1月から消化器内科に勤務している福田直子と申します。上部下部の内視鏡とポリープ切除も行っています。

大学に入学したとき、18歳です。と答えて、若いなーと言われた事がつい昨日のように思われますが、あつという間に数十年の月日が過ぎて、おばあさんになってしまいました。でも、気持ちだけは18歳の頃と変わりません。学生の頃はあまり勉強が好きでなかったのですが、医学の進歩により最近色々なことがわかってきて、面白くなってきました。子供が小さかった頃、ピロリ菌が発見されて、ピロリ菌の検査や、内視鏡をやっている、ママは普通のお母さんと違う。ピロリ菌のことばかり言っている。と言われました。

ご存知の方も多いと思いますが、胃炎の9割くらいはピロリ菌が原因であると言われていています。ピロリ菌による胃炎に対して除菌治療がやっと5年くらい前に保険適応になったのですが、大人になってから除菌治療をしたのでは遅すぎるということがわかってきました。中学生くらいで検診をし、陽性の人に除菌治療を行うことが胃がんを予防できると考えられ、市や町の単位で、中学生の検診が始まっている地区もあります。私もピロリ菌外来をやらせて貰おうかと考えています。よろしくお願いたします。



内科医師
岡山大学総合内科准教授
萩谷 英大

私の略歴を簡単に紹介します。生まれも育ちも茨城県つくば市です。ひよんなことから岡山大学を選び2008年に医学部を卒業しました。初期研修後、3年間は岡山県北の津山中央病院の救命救急センターで救急医及び麻酔科医として勤務し、3次救急医療集中治療・麻酔に従事しました。その後、岡山大学病院総合内科で2年間過ごした後、大阪大学医学部附属病院に異動となりました。大阪大学では、感染制御部に3年間、老年・総合内科科学に1年間所属し、幅広く臨床・研究の経験を積みました。臨床医としての専門は感染症です。感染症専門医として何をしているの？と昔はよく言われましたが、だんだんと院内感染対策の重要性が認知されるようになり、今では需要と供給のバランスが不釣り合い(必要な数の感染症専門医が現場に育っていない)な状況にあるといわれています。ニッチな領域ですが、医療安全・病院経営を支える“縁の下の力持ち”的存在として今後も仲間を増やしていきたいと思っています。

みなさん、こんにちは。2019年4月よりまるがめ医療センターに来ることになりました。萩谷英大(はぎや ひではる)と申します。岡山大学病院の総合内科に所属していますが、毎週水曜日・木曜日の昼にかけて、内科外来・健診外来・病棟・当直業務をさせていただきます。私の他にも、山本(昨年より毎週月曜日に勤務)、佐住、高瀬の3人が定期的に外来・病棟での内科業務に従事いたしますので、どうぞ宜しくお願い致します。

常時院内にいるわけではないので、全ての職員さんとお話をする機会がなかなか持てないかもしれません。見かけたら、気軽に声をかけてください。また、慣れないうちはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご容赦下さい。まるがめ医療センター、さらには丸亀地域全体の医療レベルの維持・向上を目指して可能な限り尽力させていただきますので、よろしくお願いたします。



外科医師
岡山大学消化器外科
荒木 宏之

平成30年10月から毎週月曜日の午後、総合診療センター外科に勤務させていただきます。

ただいております。荒木宏之と申します。平成20年に岡山大学医学部を卒業し、岡山、兵庫、広島の地で臨床研修を行いました。現在は岡山大学消化器外科大学院で研究をしています。

今回、外来では外科的な処置を必要とされている患者さんや消化器症状などで困られている患者さんの診察をさせて頂いております。香川県で診察に携わらせて頂くのははじめてで、ご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、お役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。



院内研修 報告会



2月28日(木)13:00～15:20 7階ホールにて平成30年度院内研修報告会が開催されました。院外の様々な分野の研修会に参加したスタッフが、そこで得た新しい技術や知識を報告し、共有することを目的としています。報告会当日は、多くの職員が入れ代わり立ち代わり会場を訪れ、発表を熱心に聞き入り、それぞれの立場から、質疑応答が繰り返されました。日常業務をどのように発展させていくか考え直すよい機会となりました。

栄 養 だ よ り 春

主菜

肉・魚・卵・大豆製品など
タンパク質・脂質の供給源

主食

ご飯・パン・麺類など
体のエネルギー源

副菜

野菜・海藻・きのこなど
食物繊維・ビタミン、ミネラルの供給源

3-1-2弁当法のポイント

- ★びったりサイズの弁当を選ぶ
- ★しっかり詰める
- ★同じ料理法は1つだけ
- ★美味しそうに盛り付ける

健診科管理栄養士

年代別弁当のサイズ (ml)

	男性	女性
10代	750～950	700～750
20～40代	850～900	650
50～60代	800	650
70代以上	750	600

※あくまで目安です。詳しくは栄養士まで



当院で働くスタッフが安全に働くことができ、患者様が安心して、外来受診・入院生活が送れるよう今後も努めてまいります。協力よろしくお願いいたします。

ICTイベント⑥

当院では、適切かつ安全で質の高い医療サービスを提供できる環境を整えることを目的にICT(感染防止対策チーム)を設置し感染防止対策に努めております。

医師を中心に、薬剤師・検査技師・リハビリ・各病棟看護師によるメンバーで活動を行っています。病院職員を対象に、年2回全体教育を実施し、全ての職員へ感染防止対策の周知徹底、意識向上を図っています。また、感染の発生状況を正確かつ継続的に調査、把握し、予防と管理に努めています。日頃からの感染予防として、手指衛生の徹底にも努めております。

快走!!怪走??

「MMC勝手に選抜チーム」始動

冬真っ只中の1月、国営讃岐まんのう公園リレーマラソンに出場した我がチーム。勤務終了後の練習の甲斐あって、10人で無事、時間内に完走することができました。一本のたすきをつないでみんなでゴール!!一人で走るのとはまた違った感動で、ちょっとはまりそうです…。次回は記憶だけじゃなく、記録も残すことができるよう、日々練習です!!



連携 室 だ よ り

これからの超高齢社会を迎えるにあたり、地域の医療機関との連携は大変重要になってきます。

各医療機関の特徴を活かせるように連携をとり、患者様を地域で支えていけるような体制が望ましいと考えます。

他医療機関との窓口となっている連携室では、患者様をスムーズに受け入れ紹介できるよう日々努力しています。

さて、今回は他医療機関から紹介された患者様の人数と相談件数の傾向について紹介します。

今年度は紹介患者数の増加に比例して相談件数も増加傾向となっています。地域の先生方から少しずつ認知され、紹介し易い病院となっていると感じます。ソーシャルワーカーの人数も増え、多種多様な相談に応じることが出来る態勢を整えていることも相談件数が増えた要因です。

これからも信頼される医療機関を目指し、地域の医療機関との連携を密にして、患者様に寄り添った相談を行ってまいります。

職場長の夢



棟長 岩本 佳代子

桜の花びらが舞い散り、過ごしやすい季節となりました。4階病棟も地域包括ケア病棟としてスタートし2年目の春を迎えました。毎朝、西庄医師と共に病室訪問し患者様が元気に回復していく姿を見て安堵し、またエネルギーを頂いている今日この頃です。優しい三好先生にも癒されています。看護スタッフは入職2年目が多く在籍し、PNS(パートナーシップナッシングシステム)で看護することでお互い成長していると感じています。ワークライフに合わせ働きやすく、自分の意見もしっかり言える自律した病棟を目標にしています。これからも若いハビリススタッフやソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士と共にチーム医療で患者様が早期在宅復帰できるようサポートし、日々頑張っていきたいと思っています。

入職式

4月1日に入職式が行われ、17名の新しい顔ぶれが加わりました。

松本理事長より一人一人へ辞令が交付され、社会人としてのスタートをきりました。

皆さん、緊張した面持ちでしたが、新元号が発表された後は、笑顔も見られ和やかな1日でした。



オリエンテーション

今年度から、新人さんにはしっかりといろいろなことを覚えてもらうために、新しいオリエンテーションを企画しました。社会人としての心構え、接遇、医療サービスとは、など2週間かけてみっちり学んでいただきました。それもこれもすべて患者様のため…。今在籍中の職員ともども今後がんばっていきますので、よろしくお願います！



「指定居宅介護支援事業所 ケアプラザまるがめ」が移転しました

スタッフ一同気持ち新たに、地域の皆様のお役にたてられるようきめ細かなサービスを提供していきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

新住所 香川県丸亀市津森町158番1



スタッフリレー Vol.12

氏名 松山 文華 所属部署 医事課リーダー

前回 山本さんからの質問

Q 小さい頃の夢は何でしたか？

A 美容師です(幼稚園の時、リカちゃんやパーピー人形で三つ編みの練習をしたり、何体か髪を切ってしまった記憶があります。)



MSWの山本さんからたすきを預かりました、医事課の松山です。新患受付、会計業務を経て、現在は入院の請求業務をしています。近い将来、団塊世代が高齢者となり、更にはAIが当たり前になる時代に向かう中で、見直されていく医療や診療報酬についても日々学んでいく必要があると実感しています。まだまだ知識不足であり、仕事と育児の両立で皆様にご迷惑をおかけすることもあります。支えてくださる周りのスタッフには、本当に感謝しています。

さて、質問にある幼少期の夢を思い出していた時、「将来は関空のGS(グランドスタッフ)になる!」と記した中学の卒業文集を発見しました。それから高校最後の夏にイーストボーンでホームステイをしたことがきっかけで、「夢」が明確な「目標」に変わったことを今でも鮮明に覚えています。当時、ロンドンで同時多発テロがあり反対する人達もたくさんいた中で、私に寄り添い背中を押してくれた両親には、今も感謝で胸一杯です。現在、私には小学生の娘がいますが、これからは娘の夢を叶える為に、親として様々な経験をさせてあげたいです。

次は『とても真面目でスポーツ万能』なあなたの方へたすきを渡したいと思います。

休日は何をしていますか? 私から「あの方」への質問

看護職員募集

職場見学・インターンシップも随時開催! 詳しくはお問合わせください。



編集後記

新しい年度は「平成」の最後であって、「令和」元年です。平成元年に世界の20社に日本は14社入っていました。GDP(国民総生産高)は平成21年に中国に抜かれ世界第3位です。世界の研究者数は平成23年から中国が米国を抜き2位、日本ははるかに下です。米国への留学生108万人のうち、中国は35万人、日本は1.5万人程度です。この原因は、IT、AI産業の立ち遅れです。ファウエイ、アップル、サムスンなどです。中国、米国では20代、30代の若者がキーパーソンになっています。当院も16名の職員が新入社しました。そして松本理事長・東原事務局長を新しく迎えました。世界は若い人たちがイノベーションの中心です。当院も若い方がキーパーソンになり、ニュー・まるがめ医療センターを築くため知恵を出し、汗をかきましょう。

加藤 繁秋